



英国の自動車業界、 新車のエネルギーのラベリングスキームを改定。

英国の自動車業界は、新車のエネルギー・パフォーマンスを明確に表示する消費者向けのラベリング・スキームを改定した。これは欧州が規定する、キロ当たりのCO2排出量の提示に関する最低必要条件を上回っており、欧州規制よりも数年早く導入される、英国独自の業界の任意的動きである。

この新しいラベリングスキームは、低炭素技術車パートナーシップ (Low Carbon Vehicle Partnership: LowCVP) の年次会議の場で、交通省閣内大臣のAlistair Darling によって発表された。このスキームは2005年7月から導入され、7月から9月までの間に、英国の42の全ての自動車ブランドに導入される予定である。

低炭素技術者パートナーシップ (LowCVP) とは？

LowCVP は、交通省 (Department for Transport) と貿易産業省 (Department of Trade and Industry) から財政援助を受け2003年1月に発足した機関で、政府系、自動車業界代表、燃料産業に携わる人、環境団体、消費者代表などの150人以上のメンバーから成る。目的は、気候変動をもたらす英国の二酸化炭素排出の4分の1を占める道路交通に真剣に取り組むことで、低炭素排出の車づくりを目指している。同時に、同機関の大きなミッションは、ステイク・ホルダーをネットワーク化し、市場全体・業界全体の課題に協力して取り組む体制を促進することである。

新しいラベリングの特徴

- 新しいラベリングは消費者がひと目で分かるように鮮やかな色合いである。
- これは白物などの家電に使われている欧州のラベリングスキームと色合いが似ている。
- このラベリングスキームで消費者に与えられる情報は、1万2000マイル走ったと想定した場合の自動車税、燃料費の推定数値を含む。
- 具体例として以下の三車の実際のラベルを参考にされたい。



周辺業界の反応

LowCVP のメンバーであるRAC Foundation 代表Edmund King は、「低所得者層においては、家庭の消費支出の24%をも車関連に費やしているため、新車購入を考慮する人が、簡単に、どの程度環境に良くコストが下がるかと理解できるのは非常に画期的だ」と言う。また、新車購入者の20%以上が読む業界雑誌「What Car?」の編集長David Motton は、



TOYOTA Prius: [www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_-_Prius_\(fin\).pdf](http://www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_-_Prius_(fin).pdf)

Citroën C3 'Stop Start': [www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_C3_stop-start_\(fin\).pdf](http://www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_C3_stop-start_(fin).pdf)

VW Touran: [www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_-_VW_Touran_\(fin\).pdf](http://www.lowcvp.org.uk/uploaded/documents/Environment_label_-_VW_Touran_(fin).pdf)